

# 今連盟だより

第5号

昭和60年11月1日

発行 静岡県家庭婦人バレー部連盟事務局 〒426 藤枝市大手1-28-4 電(0546)41-5381

## さわやか杯争奪

### 第9回静岡県家庭婦人バレー部連盟大会

60. 1 体館  
草東部 40チーム  
中部 27チーム  
西部 21チーム

#### 大会に参加して

遠州浜クラブ 峰 照子

さわやかに夏こそ汗を流し、ちょつ  
びり緊張したバレー部連盟大会、ユニ  
ホームを着れば、皆同じ、年齢の差な  
ど何のその、と若さではりきるママさ  
ん。健康のためのバレー、楽しみのた  
めのバレー、親睦のためのバレー、ス  
トレス解消のためのバレー、とそれぞ  
れ目的は違いますが、こうして主婦が  
見るスポーツから、やるスポーツへと  
力を入れ、結婚後もさせていただける  
ことに、とても感謝しております。

家庭婦人バレー部連盟大会……こん  
な文字も今では当たり前のような気が致  
しますが、これまでに発展させて下さ  
いました関係者の方々に厚くお礼申し  
上げるのでございます。

ふりかえってみると、いろいろな  
ことがありましたが、十年前のママさ  
んチームと、最近のママさんチームと  
では変ってきたように思われます。特  
に、チームの戦力については、どこの

チームもレベルアップし、大差がない  
ように思われます。攻撃力・ブロック  
力・サーブ力・レシーブ力・精神力な  
ど、少しづつの差はあります。ママ  
さんバレーの場合、サーブ力、精神力  
が決め手になり、勝敗が決まるような  
気が致します。

主婦として、家庭と職場と、バレー  
ボールとを両立し、家庭においては、  
嫁、母、妻の三役をこなし、試合前日、  
突然、子供が熱をだし、一睡もできな  
かった選手、急の来客で夜おそくまで  
接待する選手、職場で残業・休出など  
で働く選手などなど、家庭生活のドラマ  
をバレー部連盟大会が物語ってくれ  
るような気がいたします。試合をやる  
たびに、ドラマが違い、そのたびにチ  
ームの和もでき、他チームとの融和も  
親密になり、少しづつではあります  
が主婦としての人格も養われていくよ  
うな気が致します。バレー部連盟大会も  
澤山（実業団、大・高・中・小学校、  
家庭婦人）がありますが、主婦のよさ  
を生かし主婦でなければできないバレ  
ー部連盟をやって行きたいと思います。

## 友好の輪を

友愛クラブ 藤井

さわやか杯大会は初めての出場とい  
うこと、一つでも、二つでも、勉強  
になればという気持で、参加させてい  
ただきました。

思つてもみなかつた成績に、選手は  
もちろん、町当局も大変喜んでくれま  
した。  
まだまだ未熟な面が数多くございま  
すが、この大会で学んだ貴重な体験と、  
『やればできるのだ』という自信の下  
に、練習に励んでいきたいと考えてお  
ります。

「友愛」とは、チームの和をモット  
ーに、試合に臨んでは、相手チームを  
敬い、勝敗を別にして友好の輪を広げ  
ていこうという願いをこめて、できた  
チームです。

技の向上もさることながら、家庭婦  
人としての資質の向上、地域づくりの  
推進力として、更に努力しなければと  
思います。



## さわやか杯 雜感

県の大会にも出場できるすばらしいチャンスに恵まれ、良き経験、プラスになるように頑張りたいと思います。

池ヶ谷君江

・今年はようやく言えた。「お陰様で」と感謝を込めて。初優勝うれしいな。

飛翔クラブ 宇田 陽子

昨年は予選Bグループで優勝、今年はAグループへ仲間入りさせて戴きましたが、レギュラー二名を欠いての出場故惜しくも進出できず無念でした。A・Cグループが同じ会場でしたが、全般的にチームの若返りが目に付きました。スピードと活気に満ちたプレーを見ると、新旧交代の時期が来た様に思われました。尚A・B・Cグループの力の差はほとんどないのではないか。  
一年増すごとに全体のレベルがアップしているので、これから先の戦績が楽しみです。

## 県大会優勝



親栄クラブ一同

チーム結成三年目にしてさわやか杯県大会に出場出来た事を大変うれしく思います。

県大会に出るのは初めてですが、皆の熱気で飲み込まれないよう、マイペースでがんばりたいと思います。初戦一勝をめざしてがんばります。

静岡球友会 宇佐美久代

一步一步、前進して来た私達、安定とはいきませんが、地区予選でBクラス優勝ができ、一つの目標は達成することができ一步前進、

・ママさんバレーボール、自分が好きだからと言ってできるものではなく、家庭において良きご主人、子ども達、家族の人達の協力があつてできること、これも感謝、感謝、の一つだと思います。

大会においても特に運営のすばらしさ、役員さん達のご苦労にも感謝したいと思います。  
ママさんバレーボール、自分が好きだからと言ってできるものではなく、家庭において良きご主人、子ども達、家族の人達の協力があつてできること、これも感謝、感謝、の一つだと思います。

・チームの人、家族の人、みんなに「ありがとう」と、感謝をしないではいられません。小長井亮子

・シースカイに入って日が浅いのですが、とまだこれからも頑張ろう！ 鈴木 考子

・目標がやっとひとつ叶えられました。まだこれからも頑張ろう！ 内田美知子

・とてもうれしかった。一人一人の役目が、しっかりできたらからだと思います。山本 法子

・さわやか杯での優勝は、長年の夢でした。今度は、何年持続できるか挑戦して行きま

す。白鳥 裕美

・来年こそは、試合に出たいと思います。

堀池 依子

・メダルがもらえて、一番喜んだのは、子供達だった。大村 明子

・勝った、勝った。やった！ 池ヶ谷美佐子

・サーブカットを、もっともっと大事にした。中沢美代子

遠藤 和子

(Bグループ) 岩松クラブ

"優勝"何というすてきなことばであろう。スポーツする者なら、誰しもがあこがれるこの二字。岩松クラブにとつても本当に久しぶりに味わう感激であつた。

一年以上にわたる低迷期間。試合に必要な人数さえも揃わずに、岩松クラブの消滅かと思われるほどの苦しい期間。だれもの心が離れはじめていた。そんな中で、じつと耐えた創設者のベテランたち。なんとかもう一度部をまとめようと奔走してくれた人、そして子育ての真最中ながら、パレーに飛びこんで新風をふきこんだ新メンバーたち。そんな力がよりあわされて、岩松クラブが甦ることとなつた。

優勝するためには、何よりも人の心の和が必要である。助けあつたり、感謝しあつたりできる人と人との間にこそ、和は生まれてくる。そんなことをしみじみと私たちに教えてくれた今回の優勝であった。最高の喜びである。

(Cグループ)

浜松北星クラブ

鈴木真砂子

さわやか杯初参加。竜洋町勤労者体育センターに行くのも初めて。どれぐらいやれるだろうか、県大会まで行くことができるかなと思いつながら会場に向かいました。そして試合が始まり最初の頃の固さもだんだんほぐれ、みんなで声を掛けてがんばり、

Cグループの二位になりました。  
チーム結成三年目に

なります、まだまだ

これからで、全員でい

ろいろ試してみようと

いうところです。県大

会に出場できることに

なり、各地区のチーム、

県大会というムードな

どいろいろ勉強し、こ

れからの参考にさせて

頂きたいと思います。

そして草薙では今の私

たちのチームの力が十分

発揮できるようがん

ぱりたいと思います。

県大会では、皆  
頑張り、Cクラス  
優勝、大きなカップ  
を手にしました。

編集部追記



真田牌大会に参加

宮クラブ 諏訪部美代子

私達宮クラブは今年度より県に登録し、初めての大会でしたが、あのような広い体育館でプレー出来たことに感謝致しております。私達はふだんの練習の成果を充分発揮するともなく、一セットも取ることが出来ずとても残念でした。又、自分達の力のなさを感じる思いでした。それにくらべ、他のチームの皆さんは、サーブレーショップ、トス、アタックとどれをとつても素晴らしい、チームの力が一つの"和"となり、一つのボールに向かって行く姿はとても若々しく美しく感じられました。

クラブ一同一人一人が感じたことをこれからプレーに活かし、チームづくりの参考にして、次の機会には是非一セットでも、いや一試合勝ちたいと思います。

富塚クラブ 鈴木 照子

初めての参加ということで、一試合目は、緊張した人もあつたようですが、二試合目は強豪長泉クラブで負けはしたものの、自分達の実力以上のプレーができうれしく思いました。

この試合を足掛かりに、楽しくプレーができるようにみんなと頑張っていきたいと思っています。

## 第16回 全国家庭婦人バレーボール大会

60. 8. 1~4  
於 東京体育館



D組準優勝

細江クラブ

全国大会ともなると、日頃の実力を發揮することは至難のことである。しかし我が細江クラブは堂々と準優勝という成績を残した。

綾部会長、海瀬理事長はじめ県の役員の方々の御支援、本当にありがとうございました。  
西部の役員の方々の御支援、本当にありがとうございました。  
せん

四日間、家事から解放されバレーに専念しました。

渋谷 悅子  
れでいいこうか  
もらいました

試合中は、すべて忘れフレーができました。  
主人に感謝しています。

初めてメタルを始めたので、初めて泣きましたが、本当にうれしかったです。お父さん、子供達に感謝しています。

バレーは楽し!!を実感した。ボールが動くともう夢中……、注意されたいた事も忘れがちになる。でも心強い、コートの中には八人、コートの外からも大きな声をかけてくれる人がいる。楽しくできたバレーだった。

年令が若く出場資格がないので、今回応援  
という形で行つてきました。

ヶ月になる娘をおいて一直到本当に良かった  
と思いました。これも家族の協力があつての  
事、感謝しています。  
私も東京体育館のあの大観衆の中でプレー  
したかったです。

林あつ子  
四日間、本当に良い思い出ができました。  
家族の応援がとてもうれしかった。

立川千鶴子 金子 和子  
出発から帰りまで忙しかつたけれど、樂しく過ごせました。

県大会で優勝した時、うれしさより“どうしよう”というのが本音でした。子供、家庭の事。準備期間の七月がとても長く感じました。でも東京へ行き、皆と一緒に過ごし、それまでの苦労なんか忘れ、本当に楽しい四日間でした。チームメイトに感謝しています。そして家族にも。

編著 鈴木千恵子

これからも心・技・体が揃つたチームづくりを目標に、チーム力を合せて努力してほしいと思う。

出発から帰りまで忙しかったけれど、楽し  
く過ごせました。

でした。チームメイトに感謝しています。そして家族にも。

立川千鶴子 東京体育館で思いきりプレーができて最高  
かの有名な東京体育館も今年で最後とか…  
記念すべき大会となりました。 松井恵美子

東京体育館でバレーが出来た事がうれしかったです。

沢田  
裕子

## 寄稿

### 選手の一言

静岡アイスクラブ



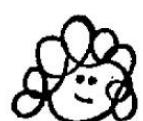
教えられ、そして磨かれる。このすばらしき仲間、私は人が好き。  
望月寿三重

### チーム近況

静岡西豊クラブ

も、気持だけは若くもちづけたいと思います。  
他のストレス解消法が見つかるまでは、バレーボールをやっていようかなと思っております。

### チーム紹介



住吉クラブ

県登録して二年目に入りましたが、チーム全員そろってチームプレーの練習がなかなか思うように出来ませんが、四十代のベテランを中心に和氣あいあいと、とても楽しいバレーボールをしております。

どの大会においても、成績は今一つですが、今年は新メンバーも加わり、一生懸命努力し一歩ずつ前進するよう心がけています。

### バレーボールはストレス解消に

清水西クラブ

吉田 瞳美

運動不足を解消しようと始めたバレーボーイの間にかストレス解消法と変わつてしまい

ボーリング大会などをし、家族同志のチームワークも計っております。チームの人達は、人の良さが長所でもあり短所でもある明るいチームです。

今年初めて県連盟に加入し、二回出場いたしました。さわやか杯で初めて一勝する事が出来皆で喜びました。大会に参加するのは大変な事です。バレーボールをする人が少なくなる事です。バレーボールをする人があまりいません。一人でも多くの人がチームに加わってくれる様なチーム作りに励み、家庭とチーム、両方のチームワークで、二勝目を挙げ皆で喜びたいと思います。

# 全国家庭婦人バレーボール連盟

## 東海ブロック審判講習会本県にて開催

60. 9. 11~12  
日 場 静岡市南部体育館  
期 会 受講生 60名  
モ デルチ ム 15チ ム

### 講習会感想

岐阜県 加納 藤子

帰りの反省会の席上、開口一番全員“いい研修会だったね”……何をおいてもまず一生懸命世話を下さった地元静岡の方々にお礼を申し上げます。

とても素晴らしい、心温かい研修会を私共に与えて下さいました事、感謝いたします。

大会があるたび、笛を吹くたび、おちこみがちで、自分自身何が原因か皆見当がつきませんでした。

先日もある大会で、素晴らしい感動する試合を吹かせていたのですが、『これでいいのかな』最終的にはそこへいってしまいます。だから、今回の研修会も、あまりのり気がしませんでした。でも、私の気持とはうらはらに、そこには生き生きとした人の顔がいくつもありました。それを見て、『よしやろう』久しぶりに血が騒ぎました。瀬藤先生、黒岩先生、そして審

判仲間、とても新鮮に、そして温かく私をつんでくれました。

二日間、辛くて、苦しくて、おまけに恥をかいたけど、得たものは、それ以上沢山あります。審判をやっていて本当に良かったナと思いました。又、一からやり直そう、素直にそう思いました。私には、とても意義のある研修会でした。

皆の一口感想を記します。

充実した研修会だった。

去年と比べて今年は意味が理解できた。

プレーの反則、緊張の連續で、ふだんの半分とれなかつた。

いろんな人に会えてよかったです。

両先生の意見の相違があり、とまどつた。

瀬藤先生の反則基準（実技）をもう少しやつて欲しい。

愛知県 受講生一同

「今度の講習会はきびしいよ」と、それぞれ不安と期待をもって会場に出向きました。

びんと張りつめた空氣の中で、先生の言葉を一言も聞き漏らすまいと、皆の顔は真剣そのものでした。実技に入り、何を指適されるかと、目線はプレーを見ていたも、全神経は先生の方に集中し、思わず失敗に「あっ」と思うと同時に先生の叱声。「こんなに上がつては、競り合う試合の審判はできないよ」と

自分に言い聞かせ、少し慣れてくると、自分がどんな審判をしているか、厳しく指適されることにより、この際どん懲り吸收させて頂

こうと思うと気持ちになりました。

両先生の指導に対する情熱に圧倒されっぱなしでしたが、終了後のさわやかな気持と満足感は先生方の愛情あるご指導の賜と感謝しております。

終りになりましたが、地元静岡の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

熱球会 蝶海 市子

全国レベルで開かれる東海ブロック審判講習会が静岡市で行われた。

昨年の厳しい講習を思い出し、私は朝から緊張気味で会場に向かった。

講習は、実技と講義に分かれていた。きわどいハンドリングの判定の説明があった後、主審、副審、線審と、それぞれ各ポジションにつき、実技の指導を受ける。今日まで習得した審判方法を思い出しつつ、必死に実技に取り組んだ。先生方の厳しいチェックに、審判技術の奥行きの深さ、むずかしさを痛感した。

又、主審、副審、線審の三者が、それぞれに役割を完全に遂行してこそ、良い審判ができるのだと思った。

夕食後の講義で「愛情のあるホイッスルと明確なシグナルで、選手に対しても良い審判をする事」とのお話を伺った。選手も審判員も家庭婦人である私達にとって、暖かみのある審判は大事な基本であると感じた。

暑い二日間、熱心に御指導くださった先生とモデルチームとして協力して下さった方々に対し、感謝の念で一杯である。

## モデルチームの一員として

松風 中村祐里子

四年に一度、静岡県で開催されると言う、

東海四県審判講習会の機会に恵まれ、見学す

る事の意義を胸に張り切って参加しました。

「審判技術の向上」と同じ目的の役員の方々の真剣な態度と、いささか緊張した姿は、何時もの大会会場とは違った静かさでした。

試合の時ならスマーズに、吹笛も、ハンドシグナルも出来るはずなのに、一挙一動の少しのミス、遅れにも、先生の一喝が飛びます。その大きな声（会場が静かなため）はつぎの行動を動搖させて仕舞う程のきびしさでした。審判の心得として、ルールの研究はもちろんの事、女らしさ、心身のコンディションの調整、反射神経を養う等々、他に試合をスムーズに続行するための臨機応変の対応も必要である事も修得させて頂きました。

## 連盟審判講習会

於日立清水  
60・6・9

清水飯田クラブ 太田 節子

日立体育館にて各クラブの代表約百人が参加して、審判講習会が行われました。私は昨年初めて参加し、今年で二年目になりますが、審判台に上がる機会がまだ少ないので、台の上に立つだけであがってしまいます。その上、私の前には鈴木先生、後には曾根田審判長、そしてコートの回りを囲む先輩方の視線を一身に浴びて緊張の連続でした。一回笛を吹く

たびに、「笛が小さい」、「笛が遅い」の声に、ただ必死にボールを追っていたような気がします。

プレー中、先生が気がついた時に試合を止めて、一つ一つ説明して下さった事は、状況とか、対処の仕方などがよくわかり、非常に勉強になりました。そして、この講習会で審

判のむずかしさを、より一層体験しました。

私は今まで、プレー中は少しでも審判の目をごまかそうとしていましたが、これからは、審判の人達が少しでもやりやすいように、ミスをした時にはしっかりと手を上げ、フェアに認めようと思います。

ご指導の先生方及び、モデルチームの皆様に感謝し、もつともっと勉強し、早く審判員の資格をとりたいと思います。

## 人物紹介



向敷地クラブ B 滝本千枝子 55才

史上最高の参加チーム数となつた、第九回さわやか杯に於いて、参加選手最年長者として特別賞として記念ボールを授与された。

連盟役員として十年。事務局次長として、事務局長の片腕となり、地味な存在ではあるがその実力は抜群のものがあり、連盟にとつてはいぶし銀の輝きを持った人物である。

理事長 増田ユキ子

十月十三日、県営草薙体育館に於いて、第十一回静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会が開催されました。九月二十二日の東・中・西各地区予選で勝ち進んだ代表二十四チームの主将がブラカードをかかげての入場で開会式が行われ、選手の皆さん顔は緊張と試合への意気込みで輝いて見えました。

試合は一回戦から三セットに

わたる接戦が多く、各コートに大熱戦が繰り広げられ、ファイトの声と応援の歓声が館内にひびいておりました。観覧席には応援に見えたご主人や子供さんたちの姿が数多く見受けられ、家庭婦人がバレーボールを楽しんでくるのは、日頃からの家族のご理解、ご協力の賜と心から感謝致しております。

この大会は、共催のけんみんテレビからテレビ放映がされることになり、特設コートでの決勝戦の模様が録画され、ゲストには元オリンピック選手の千葉勝美さまをむかえ、解説の決勝戦は清水シースカイと島田クラブで行われ、サーブ力、レシーブ、アタックとどちらも精彩な戦いとなりました。

## 60年度 県大会成績結果

	1 位	2 位	3 位
真田杯	清水西クラブ	清水シースカイ	静岡アイリスクラブ
全国大会県予選	細江クラブ	静岡アイリスクラブ	板妻クラブ
選手権大会	清水シースカイ	島田クラブ	竜洋クラブ

## 第12回 東海家庭婦人バレー大会 60.10.27 於 東レ三島体育馆

『清水シースカイ』 見事に初優勝!!

愛知の強豪 昭南クラブAと対戦、豊かなコンビネーションに速攻を生かし、息づまる熱戦の末、2-1で優勝杯を手にした。

『島田クラブ』 初出場で第3位!!

昭南クラブAに準決勝で破れたものの、試合内容はあたかも決勝戦のような白熱したゲームを展開してくれた。

らも甲乙つけがたく、手に汗にぎる熱戦が一時間余り続き、三セットの末、清水シースカイが優勝の栄誉に輝きました。両チームは十二月二十七日に東レ三島体育館で行われます第十二回東海家庭婦人バレーボール大会に静岡県代表として出場いたします。どうぞ日頃の練習の成果が充分發揮できますよう、力の限り頑張って下さい。期待しております。

● 準決勝

清水シースカイ2  
12  
11  
41  
0 竜洋クラブ

● 決勝

清水シリーズカイ2  
21 21 21  
1 1 1  
11 23 14

○竜洋クラブ

編集の経験が皆無であった私たちが、手さぐりで始めた「連盟だより」も皆さんのご投稿、ご協力で第5号発行の運びとなりましたことしも各種大会を無事に終了することができました。本年度のさわやか杯は、史上最高の88チームの参加があり、大会の成果は、連盟の発展、成長に繋っております。中西(六〇年度登録チーム数 103チーム) 東部: 43 中部: 33 西部: 27

編集後記

むらなねつそれたよかわをるぬりちとへほにはろい

いつまでもやれる楽しみママさんバレーボールより実行 守備体系  
花の年ごろ ママさんバレーボール  
忍耐と努力実って初勝利  
本当にまかせて安心我らのエース  
下手な横好きでも楽しむ  
時には十分リラックス  
小さな助言も大きく育つ  
理屈で勝てる試合なし  
抜き差しならぬ 重なる試合  
ルールを守って さわやかバレーボール  
応援の我が子の声にファイト出し  
和気あいあい なごむ心の親睦バレーボール  
回転レシーブ まだまだできるこの若さ  
良いプレー見たり聞いたりおぼえたり  
たまのミス やらないはずが又かさむ  
練習の積み重ね ツキを呼び  
袖すり合って コートでお見合い  
常日頃規則正しい生活態度  
撃挫は冷して安静に  
なげるな試合 最後まで  
らくをして 早く上手になるわけない  
無理しても ママさんバレーやめられぬ

んすせもひゑしみめゆきさあてえこふけまやくあのあう

上には上あり	ハイクラス
草駄天ママさんバツクでホロ一	伸びよ伸ばせよ 得手 不得手
工夫して 時間を生み出す練習日	鬼コチ 鬼監督 稀少価値
やれるだけやった試合は すがすがし	丸いボルに若さがはずむ
健康第一 怪我注意	不得手をなくす 普段の努力
交代の選手ベンチでかたずのむ	期待され 仲間入りするニューフェース
縁あり共にやるパレー	勇気出し 先ず大会に参加する
丁寧なプレー チャンスに結びつく	めいめいの心くばりがチームの輪
明るく 楽しく 美しく	みんなで持ち寄る手作り弁当
さまになる頃 審判こわさ知り	審判も選手もルールよくおぼえ
人の和で拡げるチームと地域の輪	縁起をかつぐ自信なさ
”もう駄目”と思うな 逆転まだ残る	人の和で協力 よいマナー
清潔な服装	進んで掃除
運動のできる幸せ	かみしめる